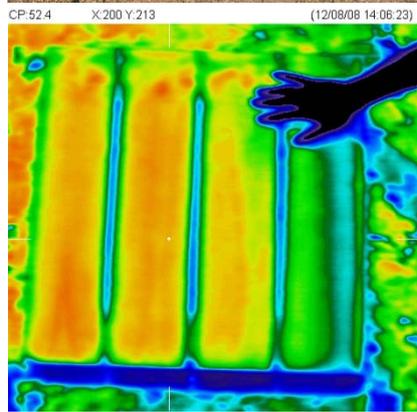
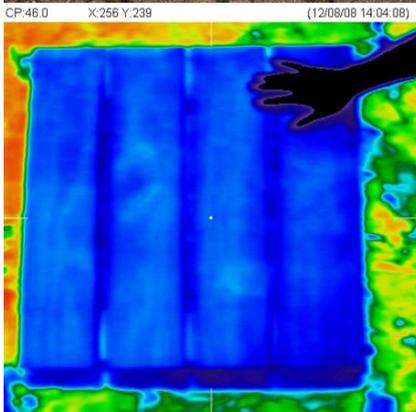


材質の違いによるデッキの表面温度について

5種類の材料で、それぞれ約60cm角のデッキパネルを作製し、日中約5時間、屋外に放置し、素材の違いによるデッキの表面温度の違いを、サーモグラフィーを使用して測定しました。温度分布画像では、青・緑・黄・赤・紫の順で、温度が高いことを示しています。(画像右のカラー温度スケール参照ください)

実施場所 広島県立総合技術研究所
 東部工業技術センター内 中庭
 実施日時 2012年8月8日

暴露時間 約5時間(午前9時～午後2時)
 測定時刻 午後2時すぎ
 最高気温 32.5℃(晴天)



アコヤを使用したデッキパネルは、温度分布画像では、全体的に青色で表され、表面温度は、摂氏45～46度程度。アコヤのデッキパネルは、地面より温度が低く保たれていることが判ります。

サーモウッドのデッキパネルは、ほぼ地面と同じ温度になっています。

測定に使用した3種類の合成木材は、いずれも地面より、かなり高い温度に上昇しています。A社およびC社製の場合、おおむね摂氏53～55度、B社の合成木材の場合、摂氏56～58度と、非常に高温になっていることが判ります。

